

| 管理番号 | 検査項目 | 掲載日 |
|--------|------------------------|------------|
| 9-D-16 | エスカレーター駆動鎖切断時停止装置の判定基準 | 2017-03-24 |

1. 適用

駆動鎖を有するすべてのエスカレーターに適用します。

2. 検査方法

駆動鎖切断を検出した場合、停止機構が作動することを確認します。

2. 1 すり板が上側の駆動鎖にある場合

2. 1. 1 ラチェットポールとラチェットホイールが噛み合う場合

- (1) レバーからすり板を外し、ラチェットポールがラチェットホイールに接触することを確認します。
- (2) エスカレーターを手巻きで上昇させ、ラチェットポールがラチェットホイールの谷部と噛み合う位置になることを確認します。

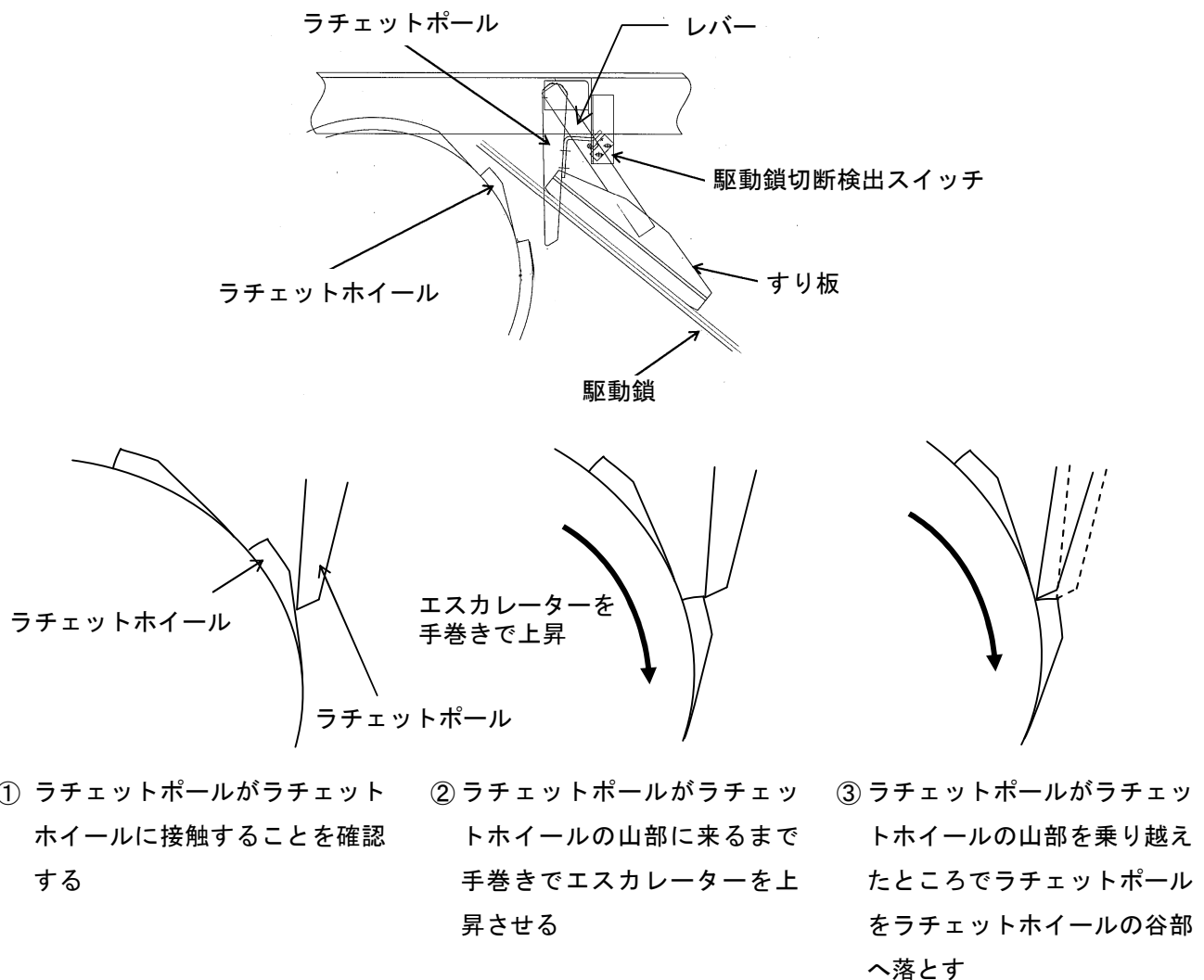


図 1. 概略図

| 管理番号 | 検査項目 | 掲載日 |
|--------|------------------------|------------|
| 9-D-16 | エスカレーター駆動鎖切断時停止装置の判定基準 | 2017-03-24 |

2. 1. 1 ラチェットポールとラチェットホイールが噛み合わない場合

- (1) すり板を設置した状態で手巻きでエスカレーターを上昇させ、すり板側の駆動鎖を張ります。
- (2) ラチェットポールとラチェットホイールの隙間Aを測定します。

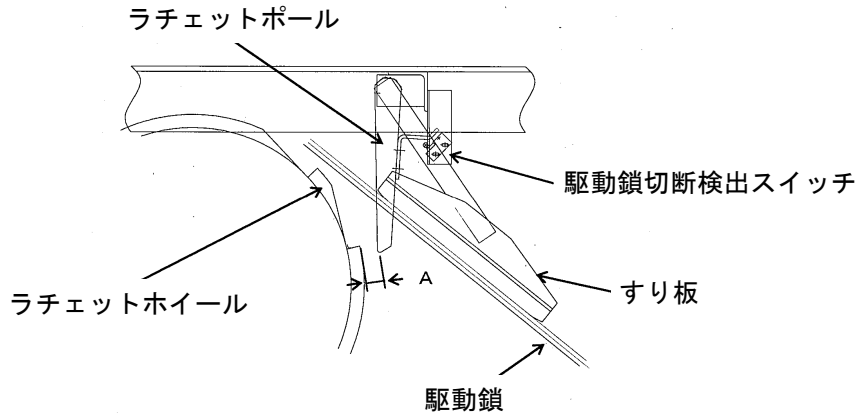


図2. 概略図

2. 2 すり板が下側の駆動鎖に設置されている場合

- (1) すり板アームからすり板を外し、ラチェットポールがラチェットホイールに接触することを確認します。
- (2) エスカレーターを手巻きで上昇させ、ラチェットポールがラチェットホイールの谷部と噛み合う位置になることを確認します。

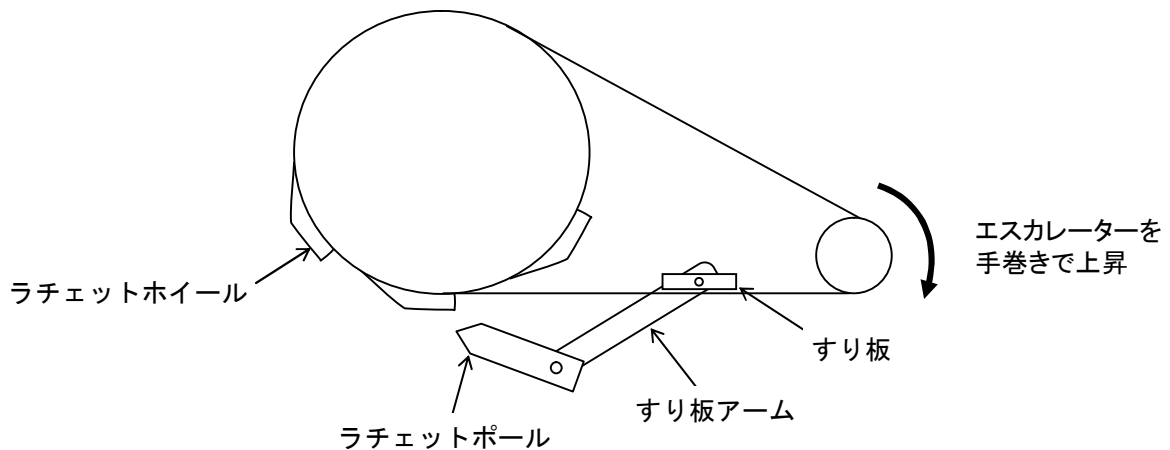


図3. 概略図

| | | |
|--------|------------------------|------------|
| 管理番号 | 検査項目 | 掲載日 |
| 9-D-16 | エスカレーター駆動鎖切断時停止装置の判定基準 | 2017-03-24 |

3. 判定基準

3. 1 すり板が上側の駆動鎖にある場合

3. 1. 1 ラチェットポールとラチェットホイールが噛み合う場合

レバーからすり板を外した状態で、レバーが駆動鎖に干渉せず確認ができる場合
ラチェットホイールとラチェットポールが噛み合わない場合は、要是正です。

3. 1. 2 ラチェットポールとラチェットホイールが噛み合わない場合

レバーからすり板を外してもレバーが駆動鎖に干渉し接触の確認ができない場合

2. 1. 1の検査方法で測定した結果、表1の寸法を満たしていない場合は、要是正です。

表1. 判定基準

| すり板位置 | 測定寸法 A mm |
|-------|-----------|
| 上 | 70 ± 2 |

3. 2 すり板が下側の駆動鎖にある場合

レバーからすり板を外した状態で、レバーが駆動鎖に干渉せず確認ができる場合
ラチェットホイールとラチェットポールが噛み合わない場合は、要是正です。